

No	活動名	アウトドアクッキング(野外炊事)				
2						
活動の概要		野外の炊事場で、火をおこして調理する。				
ねらい	規律	友情	協同	奉仕	自然	
	◎	◎	◎	◎	◎	
活動形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自主活動 (各団体での活動) <input checked="" type="checkbox"/> 指導依頼活動 (指導員の説明、指導が入る活動)					
時期	4月～11月	時間帯	終日	対象	小学生～	
場所	第1炊事場 第2炊事場	人数	(カレーライスの場合)※ 第1炊事場(～ 150人) 第2炊事場(～ 50人)	所要時間	炊事:約1.5h 食事:約0.5h 片付け:約2h	
準備物	県南青少年の家					
	マッチ、新聞紙、軍手、スポンジ、食器用洗剤、布巾類、救急用具、長袖、長ズボン			飯ごう(2～4合炊き)、鍋、ザルやボールなどの調理器具、火ばさみ、十能、食器類、スプーンなど		
活動展開例						
研修生の動き	団体引率者の動き	指導員の動き				
<ul style="list-style-type: none"> 野外炊事の役割分担をする。 引率者の指示に従い、グループの代表が食堂へ食材をとりに行く。 徒歩で炊事場に移動する。 野外炊事の仕方について説明を聞く。 役割分担に従って、調理・火おこしを含めた炊事をする。 安全に気を付けて活動する。 出来上がったグループから食事をする。 食事が終わったグループから片付けをする。 ごみの始末に気を付ける。 飯ごう以外の使用物品については、引率者の点検を受けて元の場所に返却する。 飯ごうは、指導員の点検を受けて元の場所に返却する。 使用したイスやテーブルをもとに戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> 炊事グループを作る。 食材を食堂に注文している場合、食堂で食材を受け取る。 徒歩で炊事場に引率する。 グループごとに座らせ、炊事の仕方の説明を聞かせる。 研修生の安全を第一に、炊事やかまどの支援をする。 出来上がったグループから食事をさせる。 片付けの指示をする。 ごみの始末に十分気を付けさせる。 飯ごう以外の使用物品について、汚れや水気がないかを点検し、元の場所に返却する。 かまどや炊事場の点検をする。 飯ごう点検の立会をする。 使用したイスやテーブルをもとに戻させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 炊事場の確認 野外炊事の説明の準備をする。 野外炊事の仕方について説明をする。(15分～20分程度) 必要に応じて火おこし等の支援をする。(すべてのカマドに着火確認後、支援を終了します) 団体引率者から連絡を受けて、飯ごうの点検及び器具庫・炊事場周辺の現状復旧について確認し、器具庫を施錠する。 				
留意点	・自主活動の場合でも、飯ごうの点検については職員が行います。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> 炊事用薪(1かまど分)と焚き付け用薪(1かまど分)を注文することができます。※料金などの詳細は、“利用のてびき”をご覧ください。 カレーライスのほかに、いろいろな野外炊事を行うことができます。 					